



よこはま支部だより

第68号 2018年冬



一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部
 THE YOKOHAMA BRANCH KANAGAWA PREFECTURE
 SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS



明けまして

おめでとうございます



新年のご挨拶

支部長 渡邊一郎

新年、明けましておめでとうございます。会員、賛助会員の皆様には支部運営に対しての格別のご協力を賜りまして誠に有難うございます。

東京オリンピックを二年後に控え、首都圏そして隣接の横浜でも様々な整備が進みつつあります。今年も皆様におかれましては多忙な日々が続くと思われまます。また横浜市建築局は 1. 災害に強い安全なまちづくりの着実な推進 2. 安心して豊かな住生活の実現・団地再生の推進 3. 環境と健康に配慮した建築物の普及、以上 3 点を基本政策に掲げており設計や施工に携わる支部会員への期待は益々高まるでしょう。一方、国の働き方改革で週休 2 日推進により、あらためて建築士への意識改革が求められるでしょう。知恵を絞り、様々な工夫の中で対応しなければなりません。

また建築士会全体の大きな悩みとして会員減少問題があります。職場、先輩、後輩の理解を得て多くの新しい仲間獲得にお力を貸してください。それに伴う建築士会の重大な業務の中に建築士の試験の運営があり、次代の建築士の誕生への手伝いがあります。ぜひ積極的な協力をお願いします。

最後に本年の支部会員の皆様の御健勝、御発展を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年の挨拶 支部長	1 頁
旧東海道を歩こう 日本橋→品川 品川→川崎	2 頁
納涼会 「森と人をつむぐ活動」	3 頁
日帰り研修旅行 (1)	4 頁
日帰り研修旅行 (2)	5 頁
絵画同好会	6 頁
テニス同好会	7 頁
ワイン略歴 第2回 ポルドー編	8 頁
横浜市建築局からの お知らせ	9 頁
賛助会・編集後記 賀詞交歓会のご案内	10 頁

街歩き「旧東海道を歩こう」

落合 博



日本橋～品川宿

これは本会の行事なのですが、楽しい行事なので皆様にお勧めしたいので記事に書きました。数年前から、福利厚生委員が街歩きをするのでご一緒にいかがでしょうか？という企画があり鎌倉や東京などに行って来ました。

今回は「旧東海道を歩こう」という企画で、第一回目は「日本橋」→「品川宿」まで歩くというもの。実施日は9月23日(土)。道中、名所古跡を訪ねながらの約10Kmの道のりを約4時間30分かけて歩きました。

途中、忠臣蔵で知られた泉岳寺を見学、品川まであと1.2Kmくらい。普通ならこの距離だと「タクシーで行こう」ということになるのですが、「あと15分位だな」と気持ちは完全に江戸時代の旅人氣分でした。次は2か月後、11月23日に「品川」→「川崎」までを予定しております。



五街道の起点「日本橋」にて



品川宿～大森海岸

旧東海道を歩こう二日目は11月23日「品川」→「大森海岸」約5Kmを冗談を言いながら、笑いながら和気藹々とした雰囲気です歩きました。距離が短かったせいか今回は全く疲れませんでした。品川からの道は「旧東海道」として3Km位整備されており、最初の約1Kmは電線が地中に埋められておりますので電線が全く見えないので、昔に想いを巡らせながら歩くことができました。

最近、鶴岡八幡宮で新しく御朱印帳を買った時、目の前でサラサラっと見事な筆さばきで書いていただきました。品川神社でも同じように書いていただけるものと思っていたら、なんと「品川神社」というハンコをペタッと押すだけで日付のみ下手な字で書いただけでした。

その後見学した「江原神社」「品川寺」では、ちゃんと目の前で達筆で書いていただき、やっと満足いたしました。

本陣跡・坂本竜馬銅像・浜川砲台跡などあちこち寄り道し、見学しながら本日の最後「鈴ヶ森処刑場跡」を見学致しました。処刑場から500m位品川寄りに浜川橋・別名「なみだ橋」と呼ばれる橋があります。

囚人の家族は、この橋を渡る事はできず、涙を流してその場所で別れたと、伝わっているとの事。

旧東海道には、様々な逸話・伝説が残っており、今後も楽しみです。



鈴ヶ森処刑所跡

夏の納涼会



日時：平成28年8月25日（金）午後6時～
会場：横浜アートグレイス・ポートサイドヴィラ
参加者： 42名



*納涼会に参加して

幸い天候にも恵まれ、少し暑い夏の夕暮れに、横浜の風を感じながら屋外でいただく冷えたビールは、とても格別なものでした。結婚式にも使われている会場ということもあり、洗練された非日常的な空間を背景に、会員同士のコミュニケーションもより深めることができたのではないかと思います。日が暮れるにつれてプールや庭園、建物がライトアップされ、開始時とはまた趣が変わってとても優雅な雰囲気になり、楽しいひと時を過ごすことができました。

素敵な会場のみならず、ビュッフェ形式のお食事もおなじみの物から、少し趣向を凝らせた世界各国の料理まで、数多く準備されており、食事に合わせたお酒と一緒に、愉しむことができました。デザートにはショートケーキが運ばれ、程よい甘さのケーキに舌鼓を打ちました。

会の最後には、恒例となったなぞかけを落合広報委員長に披露していただきました。夏に相応しい「あわ」に掛けたなぞかけで、笑いの中で閉会しました。末筆ながら、このような素敵な納涼会を企画していただいた厚生委員会の皆様に、お礼を申し上げます。

風呂迫 泰寛

『森と人をつむぐ活動』講演会を聴いて



10月23(月)横浜西公会堂において、(株)古川ちいきの総合研究所代表取締役古川大輔氏を迎えて、講演会が開催されました。古川氏は、林業にかかわる産地活性化のコンサルタントから製材業者などの経営コンサルタント、また地域ブランド化の仕掛け人など幅広く全国で、林業に関わりながら、活躍されている方です。

講演会の中で特に強く語っていたのが、ターゲットとマーケティングについてだと感じました。

1次産業である林業や製材業に於いては、あまり関係無い様なキーワードに思えます。しかし、林業、製材業も経営者が経営をしっかり分析し、何処にどのようにして材木、製材製品等を売り込むかを考え、その為の手段として産地、地域ブランド化の意識をしっかり持つ。そしてターゲットをはっきりすると目的もまた明確になり、地道ではあるが製材業も地域と共に活性化され活気づく。結果ターゲットとマーケティングの発想は、必要不可欠だという内容でした。



売れない、儲からない、だから寂れるというネガティブ思考では無く、地域から産地からマーケットへ仕掛けていく時代だと。林業は100年単位の時間軸で推移します。

おじいさんが植えた木を、林業家は信念込めて世の中に、送り出す。建築関係者もその信念を感じ取って、ブランド化された。

石川 高広

◇日帰り研修バス旅行・美術館見学◇

富広美術館・木田市美術館/図書館・金山城址と旧中島邸(飛行機王)

北原白秋、飛行機王中島知久平も愛した割烹で昼食

日時：平成 29 年 11 月 10 日（金）

参加者： 32 名

今年は、厚生委員会の「日帰り研修バス旅行」と総務委員会の「美術館見学」を同時に行うという、今までにない合同企画でした。



* 日帰り研修バス旅行・美術館見学に参加して

・はじめに

建築士会に入会し7年目になるが、今回初めて研修旅行に、参加させていただいた。友人の建築家で、企画に携わっている方がいて、何度かその有意義さを説明いただいたことがあり、興味ある施設が対象になった際は是非と思いつつ、今に至ってしまった。理由は忙しさにかまけていたことが大きいですが、その告知がシンプルだということもありそうだ。

富広美術館



たまたま、定期的にお送りいただく雑誌「建築士」の間から、白黒 A4 ペラの告知が目にとまり、充実した内容に興味を抱く。先着 40 人と書いていたので、漏れてはならぬと、すぐに参加申し込みをした次第。その後連絡をいただき、無事参加決定。はたして、その友人のいうことは真実だったかどうか。それは文末にまわそう。午前7時に桜木町駅に集合。朝型の私には苦にはならなかったが、一つのハードルにはなりそうだ。初めの目的地は、車で2時間半程度かかる富広美術館。

バスでは知人の横に座りおしゃべり。ネタが尽きて、沈黙が少し続いたところで到着。知人がいなくて、引っ込み思案な方が、これもハードルか？

・午前の建築見学



集合写真 (旧中島邸にて)

建築家ならだれもが知る富広美術館。私は独立する前の事務所でコンペに参加したので、建物が建つ前の敷地も知っているし、もちろんヨコミゾマコトさん設計の美術館が完成した後も訪問したことがある。でも、バックヤードを見学するのは初体。円形で構成されたプランのバックヤード動線は、どうなっているのか？円の外側にできる三角のデッドスペースはどう使われるのか？設計者ならではのカルトQを解消してくれた。折しも、非常勤講師を務める大学で、美術館の課題を練っているところ。美術館のコンペ記録をショップで購入することができ、すぐに使える資料を手にしたことにもにんまり。

次は平成 28 年7月に国重要文化財に指定された中島飛行機の創設者である、中島知久平が両親のために建てた大豪邸。同時期に建てられたと市庁舎よりも総工費がかかっているという木造住宅。解説者の建築家が、反応しそうなネタ提供に、驚きの声があがる。玄関に使われている、白御影石でできた階段。5mはあろうかという御影石に継ぎ目がない。

使われている柱はどれも柱目。40センチを超えようかという、車寄せのケヤキの4本柱も目が垂直にきれいに通っている。などなど。見る目が肥えている参加者のうんちくに耳をそばだてるのも面白い。



・午後の建築見学

割烹「明養軒」

太田市美術館・図書館

できたてほやほや、太田市駅前に建つ、平田晃久さん設計の太田市美術館／図書館。5つのキューブ状のボリュームが動線を兼ねた多目的なスロープでつながる建築。言うは易し行は難しの建築。3階建てのボリュームがスムーズにつながる。内と外がスムーズにつながる。トラベリングが楽しい。利用者はお気に入りの場所をすでに見つけているよう自分の世界に入り込んでいる。40人の見学者がカメラをもってうろうろしていても、気にする様子はない。お食事でお知り合いになった参加者と出くわして情報交換がまた楽しい。最後は、駆け足で隈研吾さん設計の金山城跡に建つ施設。残念ながら日が暮れていた上、見学時間も十分でなかった。外壁から、内部につながる、2種類の長方形が構成されたパターンに圧倒された。ここはまたゆっくり来るとしよう。

・おわりに

私は大学時代、海外をバックパッカーでまわった経験があり、ツアーなどの集団旅行を毛嫌いしているところがある。しかし、同じ専門分野の方がたが企画し、同じくその方がたが参加するツアー。当たり前かもしれないが、心地よく楽しむことができた。一人では難しい、バックヤード見学、専門家による解説。集団だからこそできることは確かにあると身をもって知った。私の知人が言っていたことは、真実であった。

間違いなく有意義であった。今まで参加しなくて損したとまで思った。今後は参加前提ではかの仕事のスケジュールを組もうと思う。はじめに告知がシンプルだったのが今まで参加しなかった要因だと書いた。実はこれはそのまま続けてほしい。なぜなら、先着順である限り、ライバルが増えるのは、私にとって好ましくないからだ。だから、この文章を書きながら、読み飛ばしてくれることを祈っていたりする。



史跡金山城跡ガイドンス施設・交流センター

藤江 創

絵画同好会便り

高橋 伸廣

スケッチ会

5月21日(日) 8名参加

今回は、菊地会員企画により、東京ステーションギャラリーにて「アドルフ・ヴェルフリ展」での絵画鑑賞、皇居東御苑でのスケッチ会を催しました。5月とはいえ、真夏を感じさせる真っ青な空の下、皆汗ばみながらスケッチを楽しみました。



皇居 三の丸尚蔵館前にて



*塩原会員のスケッチ風景



*塩原会員の作品



*菊地会員のスケッチ風景



*今井会員のスケッチ風景

テニス同好会便り

定例会報告 場所：金沢産業振興センターテニスコート

7月8日(土) 参加者8名
4時間2面にしましたが、とても暑い日でしたので、皆さんバテバテの様子でした。



7月22日(土) 参加者8名
とても暑い定例会でしたが、皆さん日焼け対策もバッチリして、たっぷりのテニスを楽しみました。



8月12日(土) 参加者8名
4時間中、前半2面、後半1面でしたが、気温が30度を下回っていましたので、いつもよりはプレーしやすく感じました。

熱中症に気を
つけ休憩しな
がらたっぷり
テニスを楽し
みました。



8月28日(土) 参加者8名
雨模様の予報でしたが薄曇りの天候になり、十分にテニスを行う事ができました。22日にテニス同好会発足当時からメンバーがお亡くなりになり、テニスが好きだった故人の思いが通じたのでしょうか、本日は告別式、練習開始前に黙祷を行い、ご冥福をお祈りしました。練習終了後には、偲ぶ会を行いました。



9月9日(土) 参加者7名
テニスをするのにはちょうど良い気候となりました。4時間、たっぷりとゲームを楽しみました。このところ2面での練習が多いのですが、参加者が少ないので1面は練習コートになっています。これからはスポーツをするのには良い季節です。皆さんテニスをしていい汗をかきましょう。



9月23日(土) 参加者7名
今回は参加人数が少ないのではないかと心配でしたが、何とか集まりました。たっぷりとゲームを楽しみました。



10月7日(土) 参加者6名
テニスにはちょうど良い季節となりました。人数は少なかったですが、4時間たっぷりとゲームを楽しみました。



11月11日(土) 参加者4名
今回は2時間2面で予約していましたが、参加者が少ないため1面で4時間に変更しました。前半は4人だったので、ダブルスのゲームを楽しみました。後半は3人となりましたのでシングル風のゲームを行い、とても良い練習ができました。皆さんへトへの様子でした。



11月25日(土) 参加者9名
小春日和でとても気持ちの良い天気となりました。参加者が増え、たっぷりとゲームを楽しみ、心地よい汗をかきました。



同好会会員募集中！

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。特に女性大歓迎！お気軽に連絡下さい。
定例会は原則第2・4土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますのでお問い合わせください。
ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。

連絡先：玉野 045-894-8452 FAX893-6614



第2回 ボルドー編



ボルドーは、大きく分けて、ジロンド川とその上流のガロンヌ川左岸のメドック、グラヴ、ソーテルヌ(白ワイン)とドルドーニュ川右岸のポムロール、サンテミリオン地域があります。

昔から、ボルドーの赤、ブルゴーニュの白と云われているように、今回は赤のみにします。

メドックやグラヴの大部分のワインは、カベルネソーヴィニオン種が中核となり、それにメルロ種を加え、他に少量のカベルネフラン種を加えます。

ポムロールとサンテミリオンでは、主としてメルロとカベルネフランです。カベルネソーヴィニオンは、色素が弱く、タンニンが強く荒々しく暗色、个性的かつ長寿で遅く熟し、厚い皮を持つために腐りにくく、はっきりした黒すぐりのアロマを持ち、熟成するにつれ様々な香りが出て来ます。メルロは、まろやかで豊潤で、肉付が良く、アルコール分が多く、殆どのシャトーで使われています。

カベルネフランは、カベルネソーヴィニオンの親戚で、ワインに複雑さと芳香を与えスパイシーです。

更に、ブドウの出来の良い年のワインを、ヴィンテージ物と云います。

若い時は、荒々しいが、ビンで大事に充分寝かせる事で、50年、100年寝かせても益々良くなるものも有ります。人間と同じで若い時は、荒々しく人付き合いが悪くても、歳を重ねる毎に熟成し立派になった人も身近にもいらっしゃいます。



第43回ワイン同好会



次回も、ボルドー編です



横浜市建築局からのお知らせ

適法で安全な建築物の実現に向けて

横浜市建築局では、安全・安心で環境に優しいまちづくりを進め、市民の幸福度を高めることを基本目標としております。

適法で安全な建築物を社会に供給し、適切に維持管理も行うことで、初めて生活や仕事の基盤たる良質な建築物ストックが形成されます。

当然のことながら、これは横浜市だけでできるものではなく、皆様方をはじめとして、様々な業界、関係者の方々の連携と協力が無くては、到底実現できません。



◇ 行政の役割り・横浜市役所の取り組み

現在、横浜では、確認申請のほとんどが民間の指定機関に申請されます。こうした時代において行政の役割とは何でしょうか？

指定機関から提出される確認済・検査済などの報告書は、年間で10万件・A4ファイルで厚さ30mにも及びます。また、ピークだった平成25年度には、年間4万件もの相談がありました。こうした、個別案件の一つひとつに対応することが本当に合理的でしょうか？

横浜市では、行政の役割を「**指定機関が建築確認・検査を適切に実施できるよう支援すること**」と定義し直しました。実際に、図面を審査し、確認処分をするのは指定機関の方達ですから、その指定機関の疑問・相談に応えることが、長い目で見れば、合理的であると考えたのです。

皆様方が確認申請に関して、わざわざ横浜市の窓口へ赴く必要はないようにしよう、指定機関が十分相談に応えられるようにしよう、そのために支援体制を組み、日々努力しています。

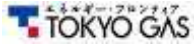
※ 建築基準法の道路種別が未判定の場合や、開発・宅地造成の許可関係など、横浜市の窓口にお越しいただく必要がある場合もあります。詳しくは、横浜市建築局ホームページをご参照ください。

「建築・開発関係窓口のご案内」<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/20140401121655.html>

横浜支部 賛助会員紹介と新年のご挨拶

渡辺組

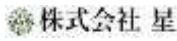
株式会社渡辺組 代表 渡邊 一郎



東京ガス株式会社
神奈川都市エネルギー部 代表 佐藤 英樹



株式会社ヒライダ 代表 平出 伸二



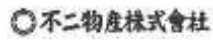
株式会社星 代表 星 雅巳



横浜エレベータ株式会社 代表 勝 治雄



株式会社カンディハウス横浜 代表 藤田 哲也



不二物産株式会社 代表 齋田 徳次郎

初春のお祝いを申し上げます。

旧年中は、格別のご厚情を賜わり、誠にありがとうございました。

キクシマは注文住宅、商業施設、教育・福祉施設等の建築施工や鉄骨製作、リフォーム、リノベーション、耐震補強工事など幅広い事業を手掛けております。

神奈川建築コンクールでは7年の連続受賞歴もあり、昨年は、最優秀賞を受賞させて頂く事が出来ました。今後も、建築家とのコラボレーションで、魅力ある街作りに貢献して参ります。



株式会社キクシマ 代表 菊嶋秀生



平成30年 新春賀詞交歓会

～ 去年に引き続き、『ナビオス横浜』で開催します！ ～

平成30年の新春賀詞交歓会は、去年に引き続き「ナビオス横浜」にて開催いたします。本会会員の皆様の交流を深めると共に、新しい出会いと、新しい発見の場となり、良い年のスタートとしていただければ幸いです。

皆様、多数お誘いあわせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

【日時】平成30年1月18日(木)18:00より

【会場】ナビオス横浜(横浜市中区新港二丁目1-1)

【会費】正会員・準会員 4,000円(個人負担)、
賛助会員・特別会員 5,000円。
※当日会場にてお支払いください。

【申込】平成30年1月11日(木)までに、E-mailまたは神奈川県建築士会ホームページより
込用紙をダウンロードいただき FAXにてお申込みください。

E-mail info@kanagawa-kentikusikai.com



*編集後記

広報委員会は、本年も横浜支部の「予定」「活動報告」などの情報を皆様にお届け致します。支部会員の皆様には引き続き「原稿」や「情報」等の提供に、ご協力下さいますようお願い致します。更に「より一層の支部活動の活性化」「会員増強のPR」等のアイデアをお寄せ下さい。

広報委員長 落合 博

【広報委員】落合 博・玉野直美・丸山幸一
雨森隆子・島宏好・太田真理子・遠堀太陽
発行 一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部事務局
〒231-0011 横浜市中区太田町 2-22
神奈川県建設会館 5階

Phone : 045-201-1284 Fax. : 045-201-0784

<http://www.kanagawa-kentikusikai.com/>

sibu/vokohama/